

■平成29年度第1回さいたま市地方創生・成長加速化戦略統合

推進本部会議議事概要

【日 時】 平成29年9月1日（金） 午後4時15分～午後5時00分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、遠藤副市長、日野副市長、水道事業管理者、教育長、技監、
都市戦略本部長、総務局長、財政局長、市民局長、スポーツ文化局長、
保健福祉局長、子ども未来局長、環境局長、経済局長、都市局長、建設局長、
消防局長、幹事区長（大宮区長、中央区長）、総合政策監

【議 事】（1）さいたま市地方創生・成長加速化戦略統合推進本部設置要綱の改正について
（2）さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略のフォローアップについて
（3）さいたま市成長戦略平成25～28年度の成果について
（4）首都圏広域地方計画に係るプロジェクトの進捗について

< 議 題 説 明(1) >

議題（1）さいたま市地方創生・成長加速化戦略統合推進本部設置要綱の改正について、事務局（都市経営戦略部）から次のような説明があった。

改正の概要は次の3点。

- ・ 1点目として、成長加速化戦略の策定に伴い、本部の名称を変更した。
- ・ 2点目として、首都圏広域地方計画に係る事業に関し、調査及び検討を行うため、関係部局会議の下に作業部会を設置した。
- ・ 3点目として、成長加速化戦略のPTを再編成した。

< 意 見 等 >

- ・ 特になし

< 議 題 説 明(2) >

議題（2）さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）のフォローアップについて、事務局（都市経営戦略部）から次のような説明があった。

- ・ H27年度に策定した総合戦略については、PDCAサイクルを回していくこととしており、H28年度におけるKPIの達成度の評価、効果の検証に関して、内部評価を実施し、また外部有識者から意見をお伺いしたので、その結果概要を報告する。
- ・ 内部評価は、総合戦略においてKPIを設定した対象項目66項目について、各KPIの達成度の評価を行った。
- ・ 評価方法については、達成度に応じてA、B、Cの3段階評価とした。

- ・ その結果、AとBを合わせた「目標を達成」した項目は、49項目、全体の75.4%だった。
- ・ 資料8ページの表は、内部評価結果を基本目標ごとに整理したもの。基本目標の2、4、5で、特にC評価項目の占める割合が多くなっている。

< 意見等 >

- ・ C評価のものは、達成できるよう、なるべく目標に近づけるよう、頑張ってもらいたい。

< 議題説明(3) >

議題（3）「さいたま市成長戦略（以下、成長戦略という。）」平成25～28年度の成果について、事務局（都市経営戦略部）から次のような説明があった。

- ・ 成長戦略の平成25年度から平成28年度の成果については、H29年3月の地方創生・成長戦略統合推進本部会議において、4年間の成果の見込みをまとめたものを御報告した。
- ・ 前回、一部確定していない数値があったが、今回、ほぼ数値が確定したので、市民の皆様等に4年間の成果を公表していきたいと考えている。
- ・ 今回は、確定したものが赤字となっているが、その箇所についてのみ御報告する。
- ・ 成長戦略の3つの目標のうち、鉄道乗降客数については、平成28年度の数値が191万となった。
- ・ 国際レベルの会議・イベントの経済波及効果については、4年間で約322億円となった。
- ・ スポーツイベント開催に伴う経済波及効果については、約418.4億円となった。
- ・ その他、資料中の赤字の数値について確定したところ。
- ・ 市民の皆様へ、HP等を通じて「4年間の成果」として発信していきたいと考えている。また、9月議会においても報告する予定である。

< 意見等 >

- ・ 成長戦略全体として、目標達成の割合は算出しているのか。
- 成長戦略は特に年度別の数値目標は設けていないので、A、B、Cといった評価は行っていない。

< 議題説明(4) >

議題（4）首都圏広域地方計画に係るプロジェクトの進捗について、事務局（都市経営戦略部）から次のような説明があった。

- ・ 首都圏広域地方計画に位置付けられたプロジェクトのうち、さいたま市、埼玉県、関東地方整備局で構成する「東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流拠点創出プロジェクト」の進捗状況を報告する。
- ・ 今年度は、本市が参加しているプロジェクトを含むすべてのPJの進捗状況を、国交省において年度末に公表することが予定されていることから、5月と8月にPT会議を開催し、具体的な事業の選定と、目標値の設定を検討してきたところだが、さらに2回PT会議を開催する予定となっている。

- ・ アウトカム指標については、昨年度整理をしたところ。特に★印がついているアウトカム指標については、PJの目標値として設定し管理していき、それ以外の指標については参考指標として数値の増減を確認する指標となっている。
- ・ H29年度については、具体的な数値指標をPT会議において検討している。
- ・ PJ会議に合わせて、庁内においても首都圏対流拠点創出関係部局会議（以下、関係部局会議という。）を設置しており、関係部局会議の中で対流拠点創出に関連する事業の進捗状況を確認するとともに、首都圏対流拠点のイメージを共有するためのコンセプト等を作成し、今年度中に対流拠点創出の基本方針の策定を目指し、作業を進めている。
- ・ H29年度は、関係部局会議を3回、各作業部会（大宮駅GCS化構想作業部会、東日本連携作業部会、広域防災拠点づくり作業部会）をそれぞれ2回開催した。

< 意見等 >

- ・ スーパー・メガリージョンとの連結を第2段階として、意識してほしい。東京圏、関西、中部とのつながりも頭に入れながら展開を考えていく必要があると考えている。
- スーパー・メガリージョン構想検討会が9月22日に立ち上がることとなっており、オブザーバーはリニアの沿線自治体となっている。傍聴等はできると思うので、本市としてもアンテナを張っていきたい。

< その他 >

- ・ 第2回さいたま市地方創生・成長加速化戦略統合推進本部会議は、9月下旬を予定しており、議題としては成長加速化戦略の素案の審議を想定している。